

三菱自動車、新型クロスオーバーMPV『エクスパンダー クロス』をインドネシアで発表 ～より力強いデザインに一新し、走行性能を向上～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤隆雄、以下三菱自動車）は、より力強いデザインに一新して走行性能を向上させた新型クロスオーバーMPV『エクスパンダー クロス』を第29回インドネシア国際オートショー^{*1}で昨日発表し、インドネシアでの販売を開始しました。同モデルはミツビシ・モータース・クラマ・ユダ・インドネシア（所在地：西ジャワ州ブカシ県）^{*2}にて生産し、アセアン地域を中心に順次展開していく予定です。

*1：正式名称は The 29th GAIKINDO Indonesia International Auto Show

*2：出資比率は三菱自動車 51.0%、三菱商事 40.0%、Krama Yudha 9.0%



新型『エクスパンダー クロス』

『エクスパンダー クロス』はクロスオーバーMPV『エクスパンダー』をベースに、SUVらしい力強さと高い走行性能、快適な乗り心地を実現したシリーズ最上位モデルです。2019年にインドネシアで発売後、アセアン、中東、中南米、南アジア、アフリカと販売市場を拡大し、2017年に販売を開始した『エクスパンダー』と合わせると、累計販売台数は2022年7月末までに47万台以上、2021年度は11万台以上と当社の車種では3番目の販売実績を誇っています。

新型『エクスパンダー クロス』は、フロントとリヤのデザインを一新してさらにSUVらしく力強いスタイリングを実現するとともに、前左右輪の制動力を調整して旋回性を高めるアクティブヨーコントロール（AYC）等の採用により、走行時の安心感や乗り心地を向上させました。

当社社長の加藤隆雄のコメント

「昨年、大幅改良した『エクスパンダー』は順次販売地域を拡大しており、今年度の販売台数は昨年度の同期間を上回るなど好調な販売状況となっています^{*3}。今回の新型『エクスパンダー クロス』はこれまで以上にSUVらしい力強さを高めた三菱自動車ならではのクロスオーバーMPVとしており、『エクスパンダー』と同様にお客様にご好評いただけることを期待しています。進化させた『エクスパンダー』シリーズによってアセアンを中心に当社のプレゼンスをさらに拡大するとともに、インドネシアでの現地生産を通じて同国の経済発展にも貢献してまいります」

*3：2022年7月末時点で約4万台。『エクスパンダー』と『エクスパンダー クロス』を合わせた2022年4月～7月累計販売台数、『エクスパンダー』は大幅改良前のモデルを含む。

1. 主な商品特長

- (1) SUVらしい力強さを高めたエクステリア
- (2) 上質感と操作性を向上させた室内空間
- (3) AYC等の採用によって走行時の安心感・乗り心地向上

2. 商品概要（インドネシア仕様）*4

*4：車両の仕様と機能はグレードや市場によって異なる場合があります。

(1) SUVらしい力強さを高めたエクステリア

・フロントではデザインコンセプト「ダイナミックシールド」を進化させ、台形モチーフの大型グリルとガードバー形状のバンパーを組み合わせることで、SUVらしい力強さを与えました。ヘッドライトはワイド感を強調する特徴的なTシェイプデザインを採用し、従来はヘッドライトユニットの下に配置していたターンランプを上部のポジションランプに組み込み、被視認性を高めました。また、前後合わせて95mm延長したオーバーハングと厚みを増したエンジンフードで、ダイナミックさと安定感を増したプロポーションとしています。

・17インチのアルミホイールには、ミディアムグレーの2トーン切削光輝仕上げのラウンドリムタイプを採用。前後スキッドプレートとドアガーニッシュのグレー塗装とコーディネートし、立体感を持たせることでSUVらしいスポーティさと力強さを表現しています。また、ルーフレールはブラックとし、全体の印象を引き締めています。

・リヤではテールゲートをより立体的な形状とし、分割線を減らして質感を高めました。リヤコンビネーションランプは、水平基調のTシェイプテールランプによりワイドで安定感のあるデザインにするとともに、従来のテールランプとバックランプに加えて、ストップランプもLED式とすることで、夜間の後方からの被視認性を向上させています。

・ボディカラーは、タフさを感じさせながらモダンな上質感を併せ持つグリーンブロンズメタリックを新たに追加しました。その他、クォーツホワイトパール、ブレードシルバーメタリック、グラファイトグレーメタリック、ジェットブラックマイカをラインアップしています。

(2) 上質感と操作性を向上させた室内空間

・インテリアでは、室内の広がり強調するとともに走行時の車体姿勢の変化をつかみやすい水平基調の「HORIZONTAL AXIS（ホリゾンタル・アクシス）」コンセプトのインストルメントパネルに、大径の4本スポークステアリングを新たに採用し、高級感を演出しました。

・より直感的に使いやすい8インチカラー液晶メーターを採用し、先進的な室内空間としました。ステアリングホイールのスポーク部に配置されたスイッチを操作すれば、平均燃費や瞬間燃費等の運転情報や、AYCの作動状態等の車両情報をメーターで確認することができ、運転に必要な情報に簡単にアクセスすることができます。

(3) AYC 等の採用によって走行時の安心感・乗り心地向上

・前左右輪の制動力を調整して旋回性を高める AYC を今回新たに採用。ハンドル角、ヨーレイト、横 G・前後 G、ブレーキ圧、車輪速などの情報から、ドライバーの操作や車両挙動を正確に判断し、運転操作に忠実な車両挙動となるよう、ブレーキ制御による前左右輪間のトルクベクタリングを行います。滑りやすい路面での旋回時にはコーナー内側の前輪にブレーキをかける AYC の制御によってアンダーステアを抑制し、ドライバーが意図した通りの軌道に近づけることが可能です。アンチロックブレーキシステム (ABS) とアクティブスタビリティコントロール (ASC) と協調し、様々な天候や路面で安全・安心で快適な運転をサポートします。

・サスペンションは、フロントのストラット取付け部の剛性を向上、リヤはショックアブソーバーのシリンダーサイズを拡大するとともに、前後とも高性能バルブを新たに採用することで、荒れた路面でもフラットで快適な乗り心地を実現します。

以上